

遺伝するがんについて

TOPICS



がんはさまざまな要因によって発症していると言われています。喫煙、飲酒、食物、運動不足、肥満などの生活習慣はがんの原因となります。

一方がんは「遺伝」も関連しています。乳がん患者さんのうち約7%~10%は遺伝が関連しているといわれ、そのうち半分が遺伝性乳がん卵巣がん症候群の患者さんです。遺伝性乳がん卵巣がん症候群の患者さんはBRCAと呼ばれている遺伝子に傷がついており、高い確率で乳がんや卵巣がんを発症します。例えばBRCA1遺伝子の変異がある場合、70歳までに57%で乳がんを発症し、40%の確率で卵巣がんを発症します。BRCA遺伝子の情報は、性別に関係なく親から子へ50%の確率で受け継がれます。米国の女優のアンジェリーナ・ジョリーは母親を若くして卵巣がんで亡くしたことをきっかけに、この遺伝子変異を調べたところ、BRCA1の遺伝子に傷がついていることが分かりました。彼女は予防的に乳房切除、卵巣卵管切除をして話題になりました。

がん発症リスクの比較

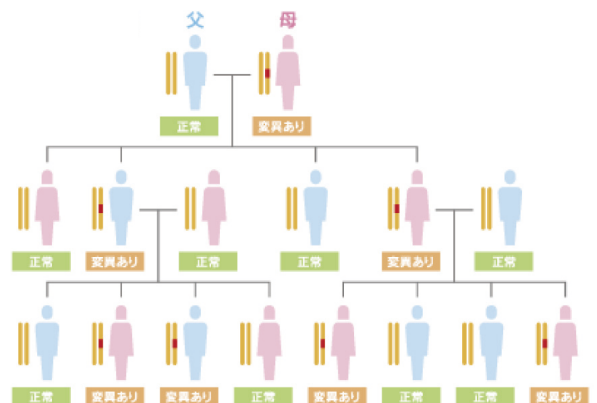
	一般的な日本人	BRCA1 遺伝子変異	BRCA2 遺伝子変異
乳がんにかかるリスク	生涯で 9% ⁴⁾	70歳までに 57% ¹⁾	70歳までに 49% ¹⁾
卵巣がんにかかるリスク	生涯で 1% ⁴⁾	70歳までに 40% ¹⁾	70歳までに 18% ¹⁾
前立腺がんにかかるリスク	生涯で 9% ⁴⁾	70歳までに 25% ²⁾	65歳までに ~15% ³⁾

日本国内でも2020年から乳がんと診断された患者さんのうち一部の方は、保険の範囲内でこの遺伝子検査を受けることができるようになりました。つまり、自分が生まれつきがんになりやすい体質なのかを調べることができるようになりました。東名厚木病院／とうめい厚木クリニックに通院中の乳がんの患者さんの中でも、実際にこの検査を受ける患者さんが増えてきています。

一方で倫理的な問題や価値観の問題もあり、必ずしもこの検査をすれば良いとは限りません。自分の遺伝情報なんて知りたくないという人が多いのも現状で、慎重な対応が必要となります。

乳腺外科 鎌田 順道

BRCA 遺伝子の遺伝



正常な遺伝子

病的な変異のある遺伝子

性別に関係なく
親から子へ50%の確立で
受け継がれる



とうめい厚木クリニック

〒243-0034厚木市船子237

TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935

<https://www.tomei.or.jp/clinic/>



予約・お問合せ電話番号

☎ 046-229-1950